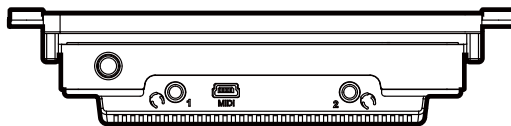


Acoustic Piano Multifunction MIDI Converter with Silent Mechanism

PIANO SILENCER

GT-2mini

QuietTime 取扱説明書



安全に使っていただくためのご注意



この注意事項には電氣的衝撃、火災、身体の負傷について書かれています。
内容をよく読まれまして製品を安全にご使用ください。

- 1、製品をご使用になる前に、取扱説明書をよく読んでください。
- 2、製品に合った専用の電源アダプターを必ずご使用ください。
- 3、どのような場合にも、絶対に製品を分解しないでください。
- 4、電源の極性に合ったプラグをご使用ください。
- 5、電源コードは他の製品とは隔離し、他の重い物やピアノの重みにより押さえつけられないようにしてください。
- 6、製品を直射日光や、湿気の多い所、高温、極寒を避けてください。
- 7、長期間ご使用にならない場合は、コンセントを抜いてください。
- 8、修理が必要な場合、専門の技術者にご依頼ください。
- 9、本ユニットは本体のみで作動しますが、他の外部機器とつないで使用される場合、出力の特性及び出力差により破損することがありますのでご注意ください。
- 10、長時間、大音量での演奏や不自然な姿勢での演奏は避けてください。
特に大音量での長時間演奏は、聴力損失の原因になりますのでご注意ください。
- 11、自然な空調がある場所に設置するのが望ましい。
- 12、特に水やコーヒーのような飲料水などが、鍵盤やユニット本体にこぼれないようご注意ください。
もし水などをこぼした場合、電源を切って修理を依頼してください。
修理前に電源を入れたりしますと、本体、キーセンサーなどの破損の原因になります。
- 13、次のような場合は専門技術者に修理依頼してください。

電源コード、アダプターが破損した場合
製品に重いものを落としたり、液体をこぼした場合
製品の一部が露出した場合
製品が正常に動作しなくなった場合
外観に致命的なダメージを受けた場合
- 14、本ユニットを使用しない場合もピアノの基本調律は定期的実施してください。
- 15、鍵盤ナラシ(高さ調整)やアクション整調の後は、本ユニットの正確な動作のため初期設定を必ず行ってください。

QuietTime GT-2mini

この度はピアノ消音ユニットシステム、Quiet Time GT-2miniをお買い求めいただきましてありがとうございます。

本ピアノ消音ユニットを、通常のアコースティックピアノに取り付けることにより、ヘッドホーンを使った消音型ピアノとしてご使用になれます。

演奏情報は、非接触型フォトセンサー検出方式により、ピアノタッチそのままの強弱を表現できます。

本ユニットは、デジタル楽器としての基本性能を備えておりますので、ピアノ音を始めとしたさまざまな楽器音128音色が楽しめます。

また、レッスンに便利なメトロノーム機能、演奏を録音する録音再生機能など、レッスンにはかかせない機能も備えています。

そして、デジタル楽器ならではの楽しみとして他のデジタル楽器との接続、パソコンに接続してのMIDIキーボードとしての使用など、楽しみ方の世界を広げるのはあなた次第です。

Quiet Time Piano Silencer SYSTEM の操作パネルはタッチセンサータイプです。

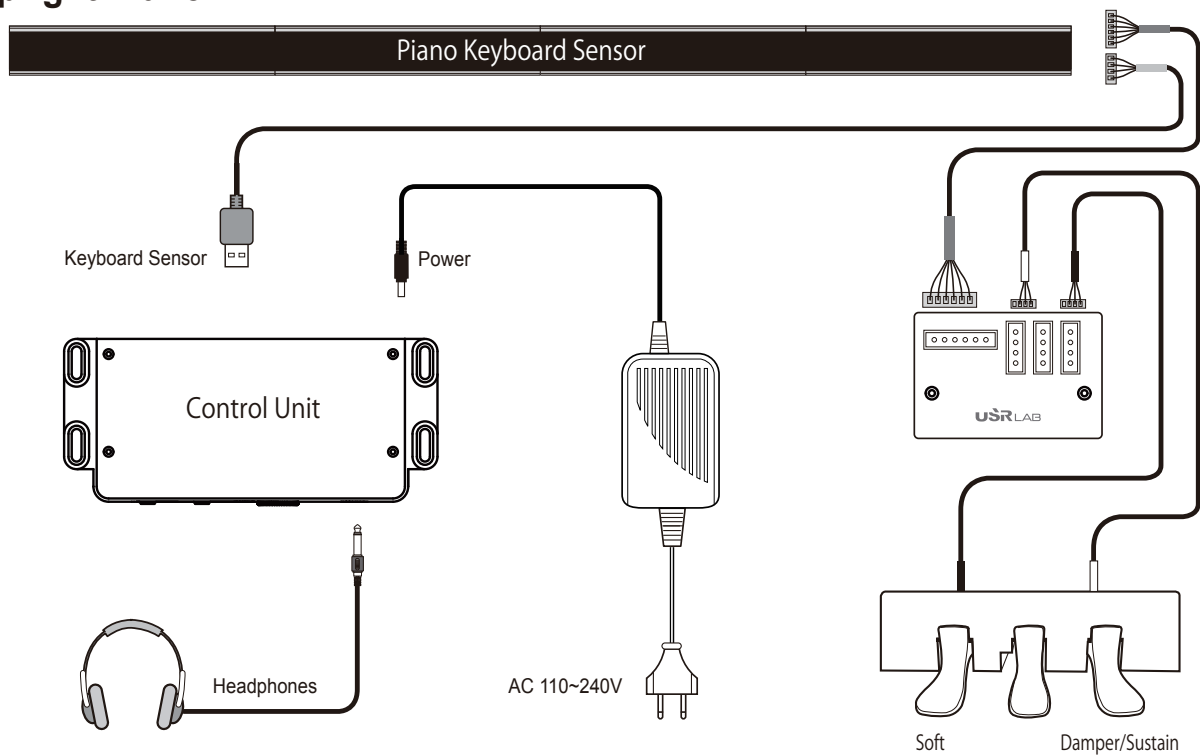
各ボタンの英文の個所を軽くタッチするだけで敏感に作動します。

目次

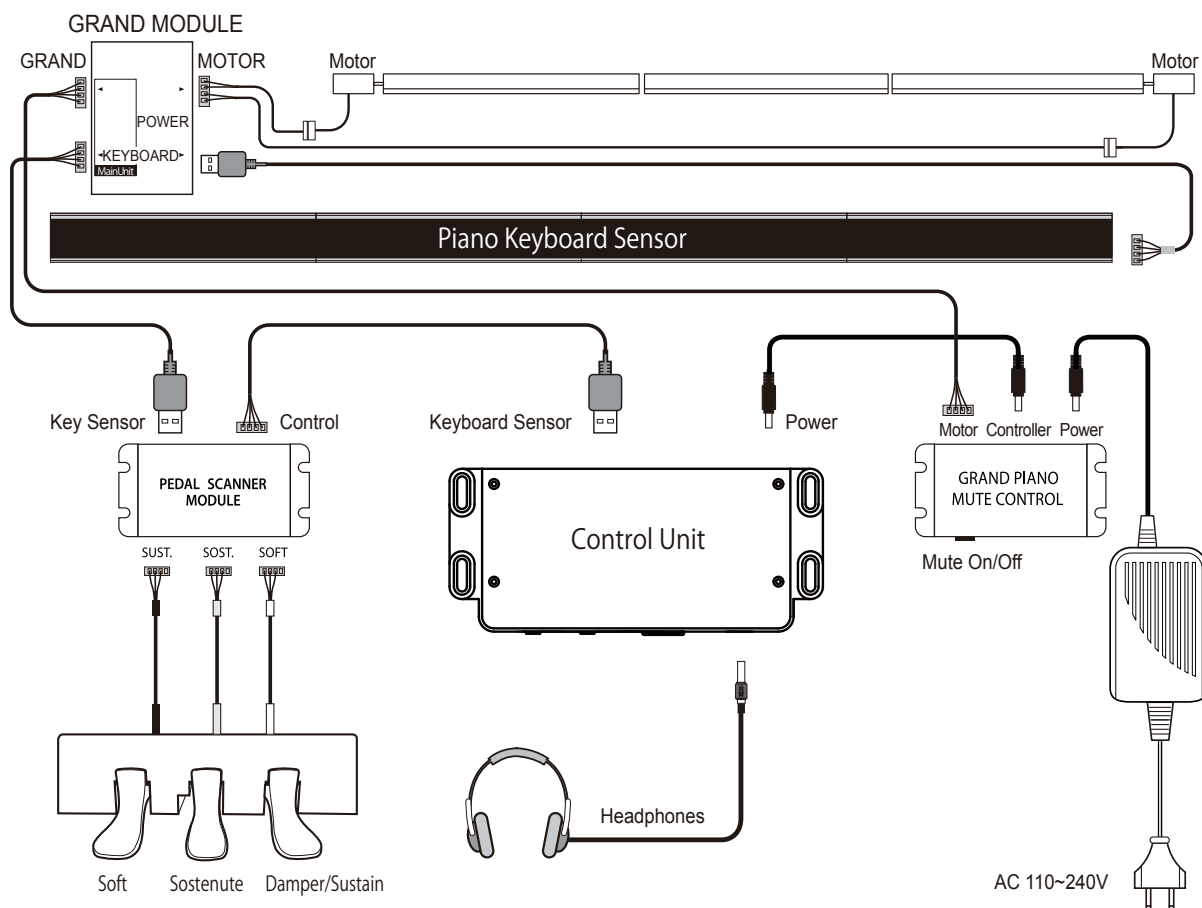
安全にご使用いただくためのご注意	2
製品紹介	3
製品構成及び配線図	4
各部の名称及び機能	5
基本操作	7
多彩な機能の活用	8
鍵盤操作による多機能の呼び出し	10
メトロノーム機能	12
録音	13
再生	14
デモ演奏	15
システムの初期設定	16
鍵盤毎の感度調整	17
システム設定機能	18
外部オーディオとの接続	19
MIDI PROGRAM Chart (GM)	21
DRUM Chart	22
MIDI Implementation Chart	23
製品の仕様及び規格	24
故障かな?と思われる前に	25

製品構成及び配線図

Upright Piano



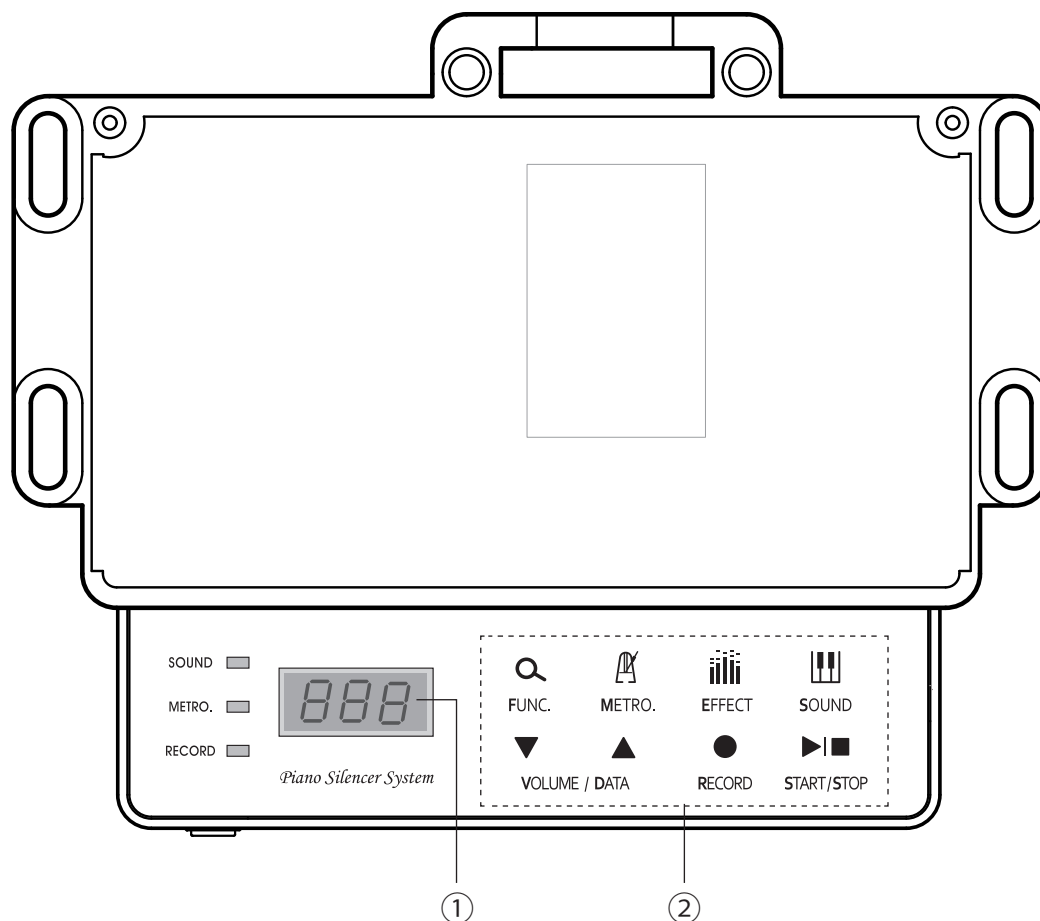
Grand Piano



各部の名称及び機能

コントロールユニット (CONTROL UNIT)

上面



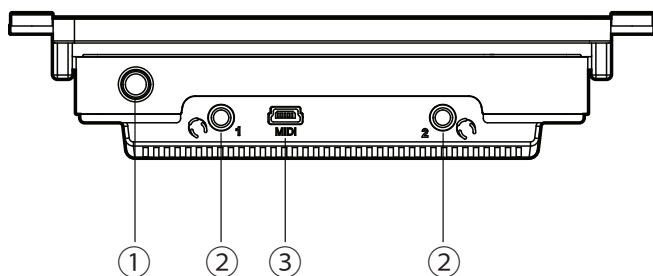
① ディスプレイ (Display) : 選択中の楽器音及び設定値を表示します。

② コントロールタッチボタン

FUNC.	METRO.	EFFECT	SOUND
機能	メトロノーム	効果音	サウンド
VOLUME / DATA		RECORD	START / STOP
音量／データ		録音	再生／ストップ

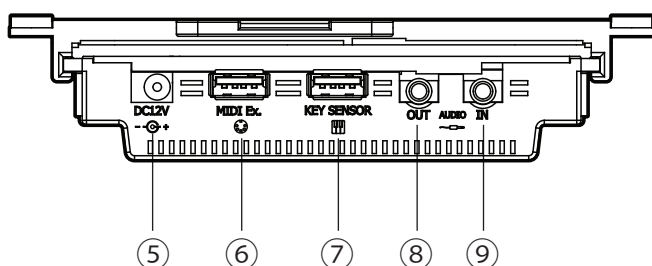
コントロールユニット (CONTROL UNIT)

前面



- ① 電源スイッチ: システム全体のON-OFF
- ② ヘッドホン端子: ヘッドホンは2つ使えます。
- ③ USB PORT (Device): パソコンUSB接続
(USB MIDI, System Update)

後面



- ⑤ DC JACK: 専用電源アダプター端子
- ⑥ MIDI Ex: MIDI拡張ケーブルポート
- ⑦ KEY SENSEOR: 専用ケーブルで鍵盤
センサーに接続
- ⑧ AUDIO OUT: 音声信号出力
- ⑨ AUDIO IN: 音声信号入力

グランド専用ミュートコントローラー (Grand Piano Mute Controller)



- ① 電源スイッチ: グランドミュートの電源ON-OFF

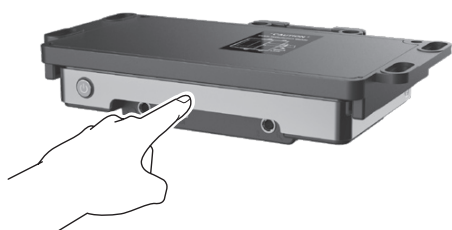
はじめに

電源アダプターは必ず専用アダプターをご使用ください。

システムの起動

消音ユニットを取付けた後にシステムの合ったピアノの整調、鍵盤センサーの初期設定後にご使用が可能になります。

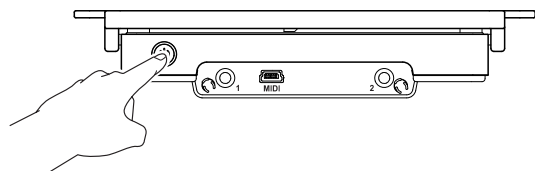
コントローラーの出し入れ



スライディングオープン方式ですので
指で前面を軽く押すと本体が出ます。



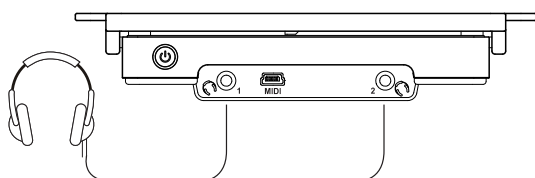
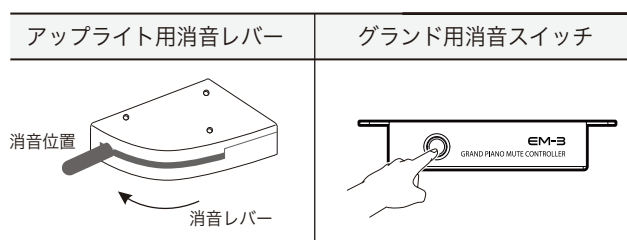
使用後は指で本体を軽く
奥まで押してください。



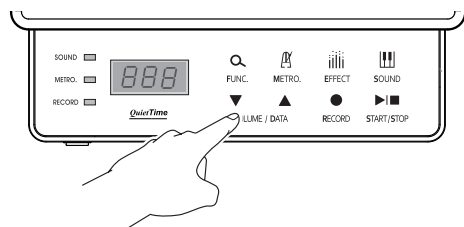
(1) 電源スイッチを押し、システムON

(2) 消音状態にします。

アップライト：消音レバーを手前に引きます。
グランドピアノ：メインコントローラーの電源を
入れると連動してミュートコントローラーが
Onになります。



(3) ヘッドホーンを端子にしっかりと差し込みます。



(4) 適当なボリュームと音色を選び演奏します。

多彩な機能の活用

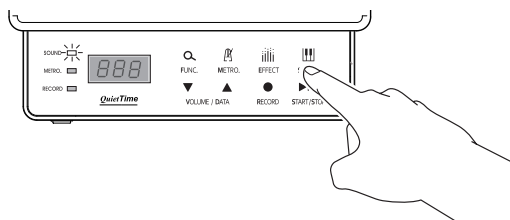
本システムはデジタルピアノのような多彩な音色と機能を兼ね備えています。
機能を熟知し使用すれば色々な音楽に合わせた音色と機能を楽しめます。
また、GM音色が内蔵されていますので、音源モジュールとして活用できます。

A 音色の選択

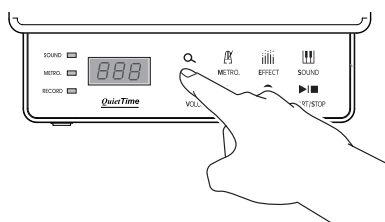
コントローラーにて Pre-Set Sound 17音色、GM128音色が選べます。

Pre-Set Soundは工場出荷で設定され変更は不可です。

- (1) [SOUND]ボタンを押すと音色モードになり、左側上段の SOUND ランプと右側上段の[SOUND]ボタンアイコンが明るくなります。



- (2) [FUNC.]ボタンの押す毎に Pre-Set Sound, GM Soundに変わります。

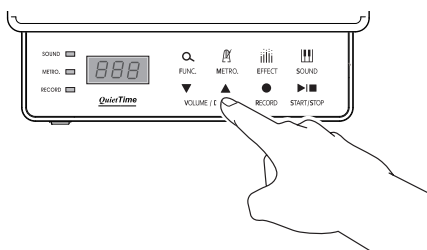


Pre-Set 1



GM 1

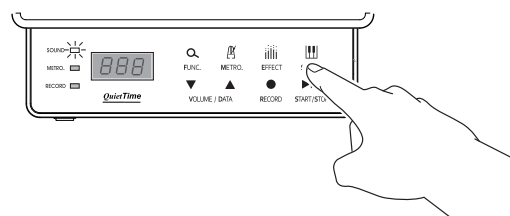
- (3) [VOLUME / DATA] の [▲]もしくは[▼]で表示サウンドグループ内の音色を選びます。



- (4) GM Soundでは1チャンネルのみ使用されます。(他のチャンネルOFF)

- ・ [▲]ボタンで上順 [▼]ボタンで下順 長押しで早送りになります。
- ・ [▲] + [▼] 同時押しで 000 : Piano1に戻ります。

- (5) 音色選択後に [SOUND]ボタンで SOUND ランプが消え HOMEモードに戻ります。



Pre-Set Sound

NO.	Pre-Set 音色	NO.	Pre-Set 音色
P1	Piano 1	P10	Sound Track
P2	Piano 2	P11	Strings
P3	E. Piano 1	P12	Pan Flute
P4	E. Piano 2	P13	Pipe Organ
P5	E. Piano 3	P14	Chruch Organ
P6	Vibraphone	P15	Organ 3
P7	Celesta	P16	Tubular Bell
P8	Tinkle Bell	P17	Drum
P9	Harpsichord		



・ GM Sound は21ページ音色一覧を参照

鍵盤操作による多機能の呼び出し

本システムはコントローラーの限定されたボタン操作以外にも [FUNC.] ボタンを押しながらの状態では鍵盤に割り当てられた操作で、各種音色、効果、移調などが可能です。

A. 128GM音色の呼び出し

[FUNC.] ボタンを押した状態で鍵盤に割り当てられた数字を組み合わせ、000~127番までの音色を選択できます。（組み合わせが127以上の場合、自動で 000 : Piano1となる）

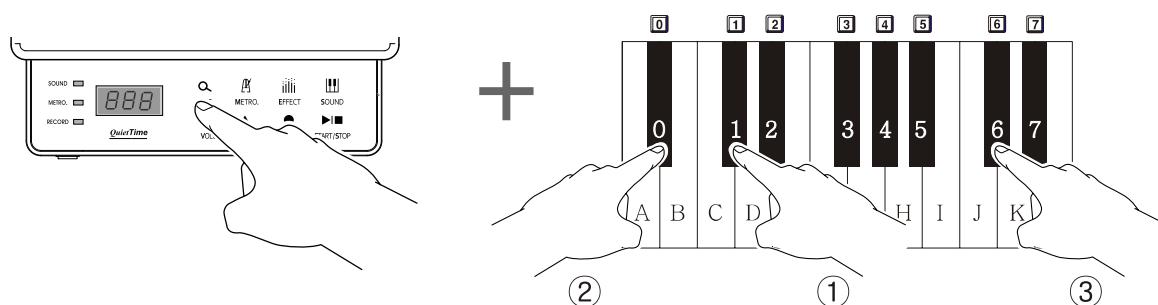
128の音色はGMチャートをご参考ください。

実楽器の実音域を超えた音域での発音は不自然な発音になることがあります。

鍵盤操作での選択楽器は単一チャンネルになります。

例) 106番音色を選択

[FUNC.] を押しながら”1”に該当するC#1(1)、“0”に該当するA#0(0)、“6”に該当するC#2を順に押した後に [FUNC.] ボタンは離す。



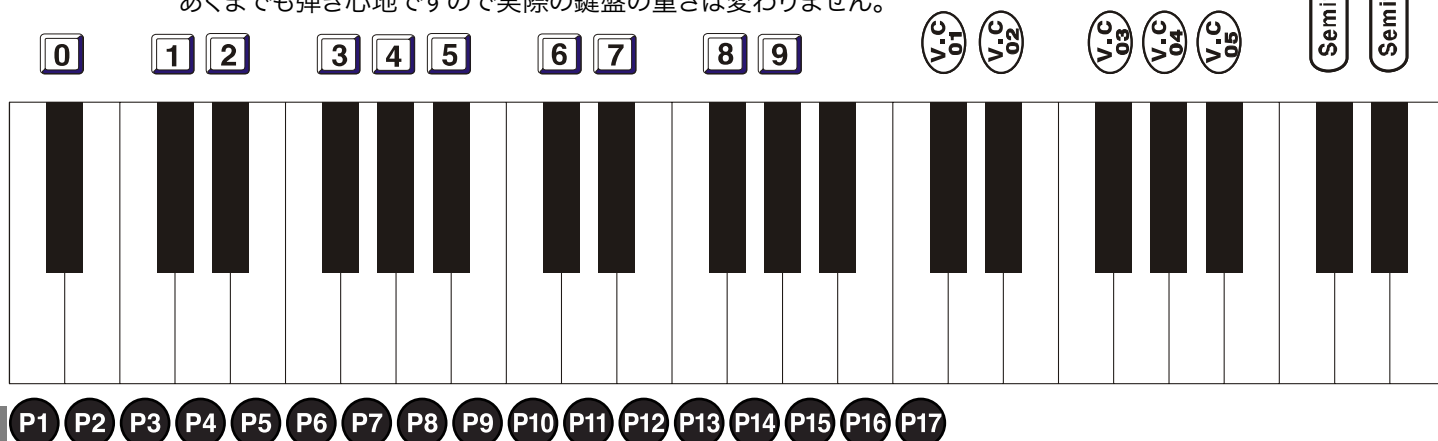
B. 鍵盤ベロシティカーブ(鍵盤感度)調整

[FUNC.] ボタンを押しながら鍵盤に割り当てられたベロシティカーブ1~5のより選びます。

鍵盤を弾いた時の重さが変わった感じがします。基本設定は3になっています。

該当鍵盤	ベロシティカーブ	鍵盤の重さ
29: C#3	Velocity Curve 1	重く感じる
31: D#3	Velocity Curve 2	少し重く感じる
34: F#3	Velocity Curve 3	普通(基本値)
36: G#3	Velocity Curve 4	少し軽く感じる
38: A#3	Velocity Curve 5	軽く感じる

あくまでも弾き心地ですので実際の鍵盤の重さは変わりません。



C. キートランスポーズ(移調)

[FUNC.] ボタンを押しながら指定鍵盤にて半音上げ下げ、オクターブ上げ下げができます。

[FUNC.] ボタンを押しながらリセット鍵盤を押すと元のキーに戻ります。

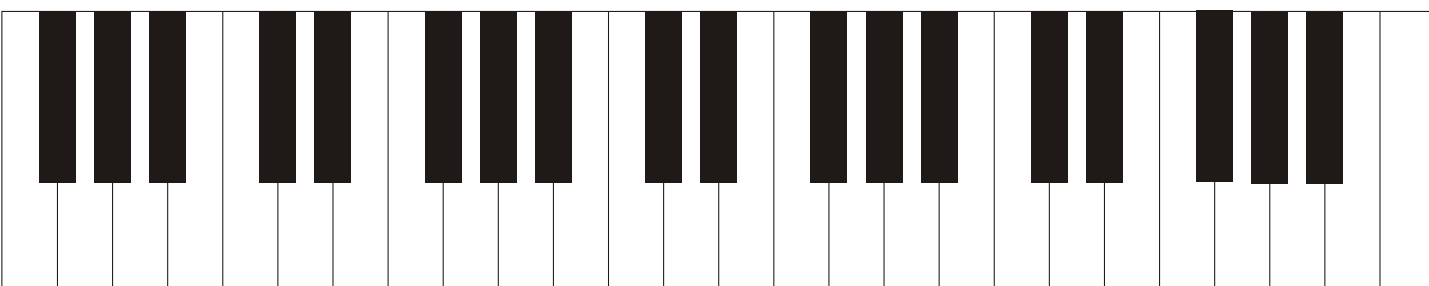
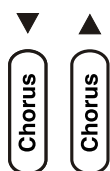
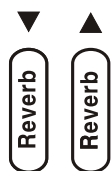
該当鍵盤	設定範囲	設定値
41:C#4	- 24半音	半音下げ
43:D#4	+ 24半音	半音上げ
46:F#4	- 2オクターブ	オクターブ下げ
48:G#4	+ 2オクターブ	オクターブ上げ
50:A#4	0	Reset (リセット)

D. リバーブ、コーラス(音響効果)設定

[FUNC.] ボタンを押しながら指定鍵盤にてリバーブ量、コーラス量の調整ができます。

[FUNC.] ボタンを押しながら指定鍵盤にてリバーブタイプ、コーラスタイプを変更できます。

該当鍵盤	設定範囲	設定値
53: C#5	000	Reverb 値 down
55: D#5	127	Reverb 値 up
58: F#5	000	Chorus 値 down
60: G#5	127	Chorus 値 up
65: C#6	8 種類	Reverb type 変更
67: D#6	8 種類	Chorus type 変更



メトロノーム機能 (Metronome)

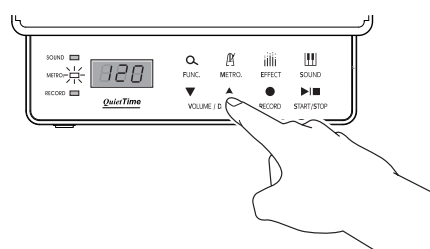
本ユニットにはレッスンに便利なメトロノーム機能が内蔵されています。

A. ON / OFF : [METRO.] ボタンを短く押しますと、ON-OFFされます。

・メトロノーム動作中は METRO 表示ランプ(左側中段)がビートに合わせ点滅

B. 設定 : [METRO.] ボタンを長押しするとメトロノーム設定画面が表示されます。

(“120” = Tempo)、METROランプが点きます、



(1) [FUNC.] を押すとTempo → Beat → Volume の順に移動します。

数値の右下の点が選択項目です。

(2) Tempo : 拍子のテンポ

(3) Beat : 1/2 ～9/8 拍子選択(チャート参照)

・拍子チャート

1/2	2/2	3/2	4/2						
1/4	2/4	3/4	4/4	5/4	6/4	7/4	8/4		
1/8	2/8	3/8	4/8	5/8	6/8	7/8	8/8	9/8	

(4) Volume : メトロノームの音量設定 (0～9 , 基本=5)



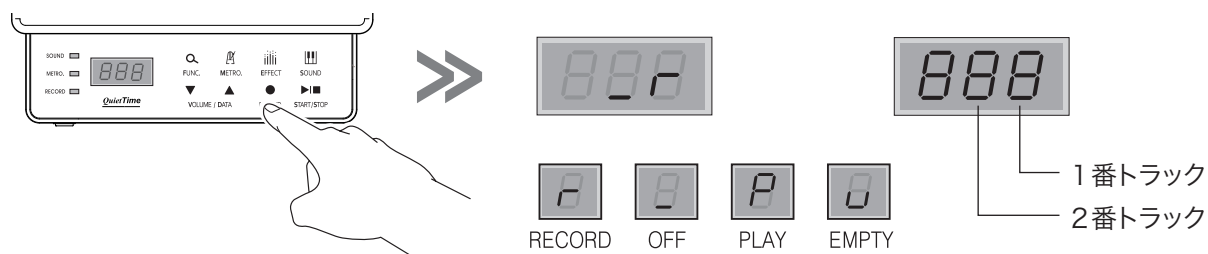
C. Tempo, Beat, Volumeは [▲] もしくは [▼] ボタンで設定します。

D. [▲] と [▼] ボタンを同時に押すと、初期値に戻ります。

E. [SOUND] ボタンを押すと HOME モードに戻ります。

録音機能

A. HOMEモードより [RECORD] ボタンを押すと録音モードになります。

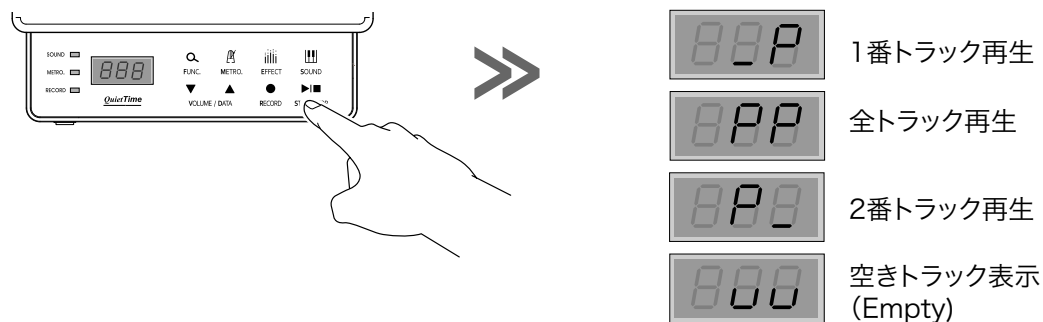


2つのトラックに各々録音することができ、片方のトラックに録音があれば、そのトラックを再生しながら、もう片方の録音が可能です。

- B. [▼] ボタンで2番トラックの RECORD / PLAY / OFF を選択します。
- C. [▲] ボタンで1番トラックの RECORD / PLAY / OFF を選択します。
- D. 先にどちらかのトラックへ録音後、別トラックへ録音する場合、先のトラックが自動再生されます。
再生させないには、再生OFFを選択してください。
- E. 録音及び再生トラックを選択後 [RECORD] ボタンを押すと Metronomeで設定されているテンポの予備拍が一小節鳴った後に録音が始まります。
- F. 録音終了は、再度 [RECORD] ボタンを押します。
- G. [SOUND] ボタンを押すと HOME モードに戻ります。
- H. 録音データの消去は [FUNC.] ボタンを2秒以上長押ししますと、表示が点滅後に消去されます。

再生機能

A. HOMEモードより [START/STOP] ボタンを押すと PLAYモードになります。



B. [▼] ボタンで 2 番トラックの再生する、もしくは再生しないを選択します。

C. [▲] ボタンで 1 番トラックの再生する、もしくは再生しないを選択します。

D. ひとつのトラックもしくは2つのトラックの同時再生が可能です。

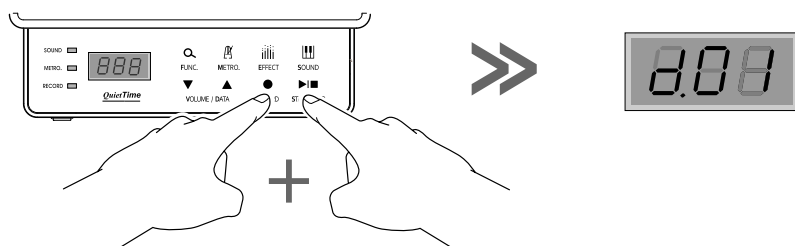
E. 再生トラックを選択後に [START/STOP] ボタンを押すとプレイスタートします。

F. ストップするには 再生中に [START/STOP] ボタンを押します。

G. HOMEモードに戻るには [SOUND] ボタンを押します。

デモ演奏 (DEMO)

A. HOMEモードより [RECORD] + [START/STOP] ボタンを同時に押すと デモ演奏モードになります。



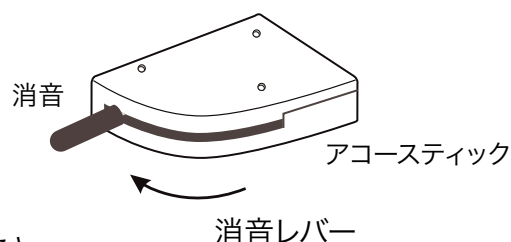
- B. [▼]または[▲] ボタンでデモ曲を選択します。
- C. [START/STOP] 押すと演奏がスタートします。
- D. 演奏が終わると次の曲が自動でスタートします。(全曲連続リピート)
- E. 演奏中に [START/STOP] を押すとストップします。
- F. HOMEモードに戻るには [SOUND] ボタンを押します。

システムの初期設定

本システムは消音状態で、演奏者だけがデジタルピアノ音を聞くことができるように、鍵盤の下でセンサーが鍵盤の動きに合わせて変化する光を測定することによる信号を、本体のスクランプログラムが、音源再生に必要な MIDI 信号に変換しています。本システムは、本システムは連続的位置検出を採用しているため、取付けた後に、鍵盤とキーセンサーの感度調整を、システム初期設定により、最適な感度によるデジタル音再生を行いますので、使用前の下記初期設定を注意深く行ってください。

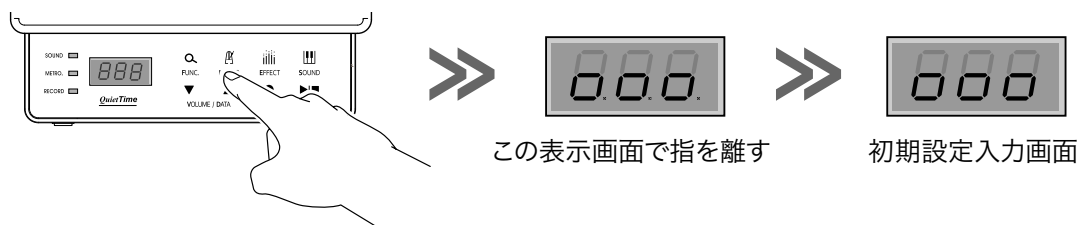
A. 初期設定の前に

- (1) 本システムの配線連結が完全であること
- (2) 消音レバーが消音位置にあること
- (3) 設定前に鍵盤が押されていないこと
- (4) レットオフ等の消音システムに合ったピアノ調整が済んでいること



B. 初期設定モード

- (1) 電源を入れた直後にシステムが立ち上がるまでに、[METRO.]ボタンを押しつづけ、次の画面が表示されるまで、ボタンを離し入力指示画面を待ちます。



- (2) [Mode] LEDが点滅中に88鍵盤を順番にひとつずつメゾフォルテぐらいの強さでしっかりと弾き、最後にペダルも両方一度ずつ踏みます。
弾いた鍵盤が初期化されると該当鍵盤の音が鳴ります。
認識済みの鍵盤は短く弾いた場合は発音します。
鍵盤を再び2秒以上押さえると該当鍵盤は再び初期化します。
初期化されない場合、一度電源を切って最初の手順からやり直します。
- (3) 各ペダルを一度ずつ踏みます。
- (4) 88鍵盤とペダルを弾いた後に、再度 [Metr.] ボタンを押します。

数秒間入力データをメモリーへ記録後、右の画面表示に
変わりましたら、演奏可能になります。

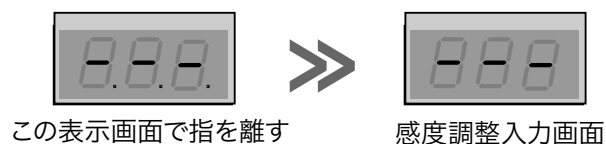


初期設定作業は、通常取付け技術者が行います。
また、引っ越しや長期間使わなかった時など、システムが不安定時に再設定されることお勧めします。

鍵盤ごとの感度調整（ボリューム調整）

キーセンサーの初期設定にて、各鍵盤ごとの感度は自動調整されますが、
鍵盤ごとの音量の違いが若干出る場合は、下記の作業にてボリュームの微調整が可能です。

- (1) 電源を入れた直後にシステムが立ち上がるまでに、[RECORD]ボタンを押しつづけ、
次の画面が表示されるましたら、ボタンを離し入力指示画面を待ちます。



- (2) ヘッドホーンを着用し、鍵盤を弾きながら音量バランスをチェックします。

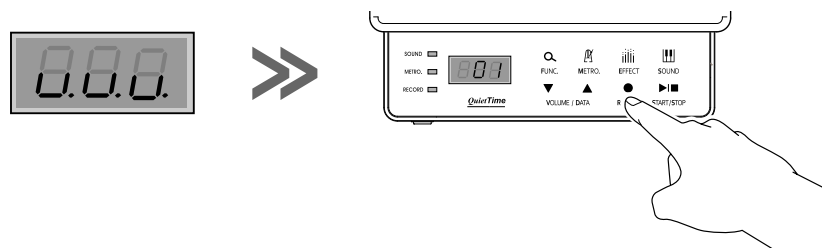


調整が必要と思われる鍵盤のボリュームを [▲],[▼]で調整します。

調整範囲は 000～255 です。

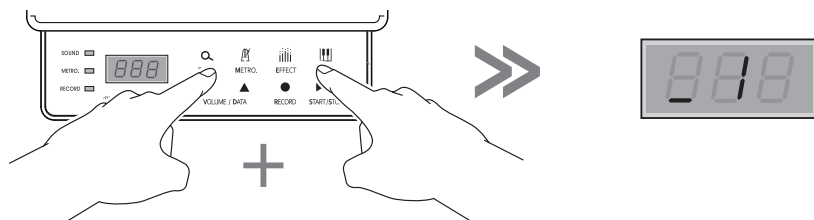
表記の数値が絶対音量ではありませんので、ご注意ください。

- (3) 調整が終わりましたら、再度 [RECORD] ボタンを押すと設定内容がメモリーされ、
HOMEモードとなり、演奏可能となります。



システム基本設定の変更

- ・ HOMEモードで [FUNC.] + [SOUND] を押すとシステム設定変更画面に変わります。



- ・ [FUNC.] ボタンで設定項目を選択します。
- ・ [▲], [▼] ボタンで設定を変更します。
- ・ [SOUND] ボタンで設定がメモリーされ、HOMEモードに戻ります。

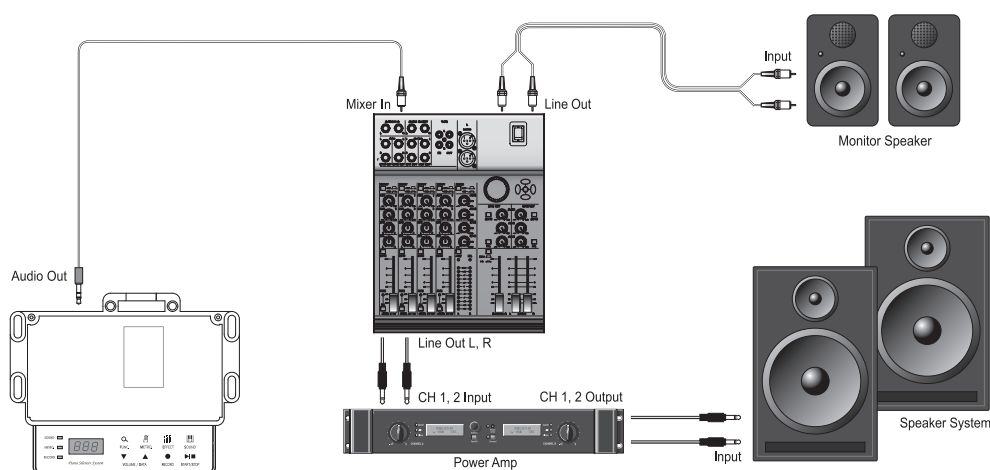
- _1, Firmware Version 表示 : con : コントロールユニットの現在バージョン
key : キーセンサーの現在バージョン
- _2, Start-Up Sound : 電源を入れた時の基本音色 (Preset 17音色より選択)
- _3, Start-Up Volume : 電源を入れた時の基本音量 デフォルト値:60 設定範囲:0~100
- _4, Line In Gain : デフォルト値: -10dB 設定範囲 : 0~ -79dB
- _5, Line Out Gain : デフォルト値: 0dB 設定範囲 : 0~ -79dB, Vol : ボリュームボタン連動
- _6, システムの初期化:全てのセッティングを工場出荷状態に戻す。
- _7, トリル時 Note off 挿入 : On/Off、デフォルト値 : Off
- _8, キータッチ連打補正 : Off, 10~400, デフォルト値 : 250
- _9, キータッチ和音補正 : Off, 10~300, デフォルト値 : Off
- _10, MIDI Out Channel : 1~16 デフォルト値 : 1
- _11, 自動電源Off時間設定 : デフォルト値 : Off, 5分~12時間まで設定可能
- _12, ソフトペダル作動位置設定 : 0~10段階調整可能, デフォルト値 : 5
- _13, ソステヌートペダル作動位置設定 : 0~10段階調整可能, デフォルト値 : 5
- _14, ダンパーペダル作動位置設定 : 0~10段階調整可能, デフォルト値 : 5

外部オーディオとの接続

本体にはオーディオ入力及び出力端子がありますので、外部オーディオ機器と接続し外部スピーカーより音を出したり、外部オーディオの音を聴きながら練習することができます。

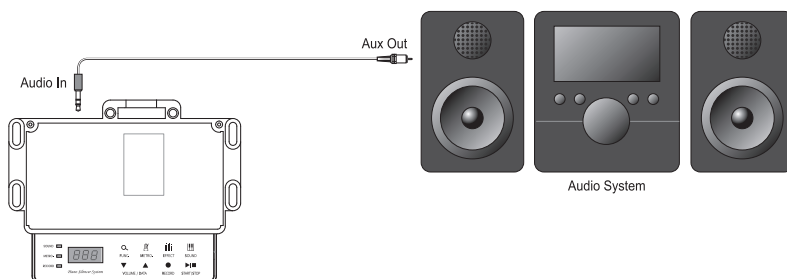
適切なオーディオケーブルにて接続し、入力、出力レベルを調節の上ご使用ください。

A. 外部スピーカーより聴く場合



- (1) 本体オーディオ出力端子より外部オーディオ入力端子にオーディオケーブルにて接続する。
外部オーディオの入力レベルを調節の上オーディオ出力ボリュームを調整します。
- (2) オーディオ端子よりの出力レベルは本体よりレベル調整が可能であり、外部オーディオでも出来ますのでオーディオ機器の容量を超過しないように調整が必要です。
- (3) ヘッドホン端子より"1/8"プラグを使用して出力かのですが、オーディオ出力に比べて4dB程度出力が高いため、音がつぶれないように出力を調整して使用してください。

B. 外部オーディオ機器を演奏を聴きながら弾く

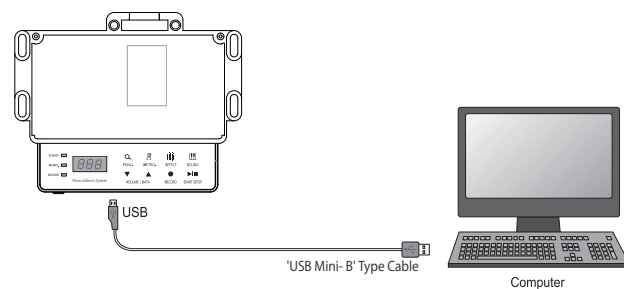


CD,Tape,MP3などより再生される音を聴きながらの演奏を本システムでは簡単な接続で出来ます。
オーディオケーブルを使って外部オーディオ出力アウトと本システムのオーディオ入力端子を接続します。

オーディオケーブル(RCA Jack)または"1/8"ステレオプラグが使用可能ですので機器に合ったケーブルをご用意ください。 本体への入力レベルはシステム設定機能で調整できます。

外部デバイスとの接続

前面USBポート mini Bタイプ 5pin : MIDI インターフェイス内蔵USB PORT

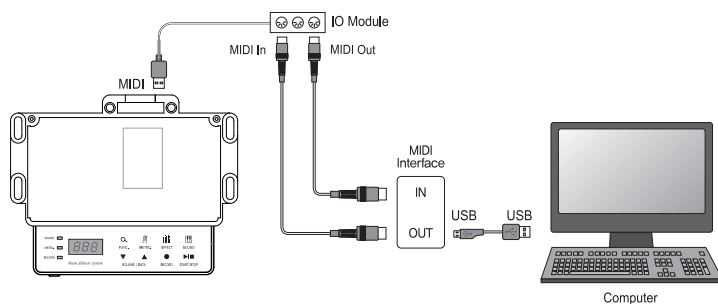
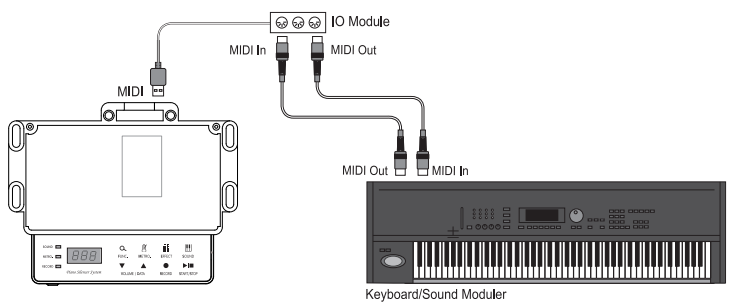


外部MIDI機器との接続

MIDI拡張ケーブルは別売りオプションとなっています。

本ユニットの演奏データを他のMIDI機器でSOUNDを再生するとPC側MIDIプログラム使用してPCの保存可能

- A. 本ユニットのMIDI OUTより他の機器のMIDI INへはMIDI CABLE(5 Pin Round Din Cable)を使用する。
- B. 本ユニットは音源モジュール使用のみ、パラメーターは外部機器でコントロールします。
- C. メーカーによりGMやPatchの一部に音量、音色の差がありますので、違いを感じる場合があります。



MIDI PROGRAM CHART (GM)

Piano

000 Piano 1	004 E.Piano 1
001 Piano 2	005 E.Piano 2
002 Piano 3	006 Harpsichord
003 Piano 4	007 Clavinet

Organ

016 Organ 1	020 Reed Organ
017 Organ 2	021 Accordion
018 Organ 3	022 Harmonica
019 Churh Organ	023 Bandneon

Bass

032 Acoustic Bs.2	036 Slap Bass 1
033 Fingered Bs	037 Slap Bass
034 Picked Bass	038 Synth Bass 1
035 Fretless Bs	039 Synth Bass 2

Ensemble

048 Strings 0	052 Chair Aahs
049 Slow Strings	053 Voice Oohs
050 Syn. Str 1	054 Synth Vox
051 Syb. Str 2	055 Ochestra Hit

Read

064 Soprano Sax	068 Oboe
066 Alto Sax	069 English Horn
067 Tenor Sax	070 Bassoon
067 Baritone Sax	071 Clarinet

Synth Lead

080 Square Wave	084 Charang
081 Saw Wave	085 Solo Box
082 Syn.Calliope	086 5th Saw Wave
083 Chiffer Lead	087 Bass & Lead

Synth SFX

096 Ice Rain	100 Brightness
097 Sondtrack	101 Goblin
098 Crystal	102 Echo Drops
099 Atmosphere	103 Synth Bass 2

Percussive

112 Tinkel Bell	116 Taiko
113 Agogo	117 Melo Tom
114 Steel Drums	118 Synth Drums
115 Woodblock	119 Reverse Cym

Chaomatic Percussin

008 Celesta	012 Marimba
009 Glockenspiel	013 Xylophone
010 Music Box	014 Tubular-bells
011 Vibraphon	015 Dulcimer

Guitar

024 Nylon-str.Gt	028 Muted Guitar
025 Steel-str.Gt	029 Overdrive Gt
026 Jazz Guitar	030 Distortion Gt
027 Clean Guitar	031 Gt.Harmonics

String / Orchestra

040 Violin	044 Tremolo Str
041 Viola	045 Pizzicato St
042 Cello	046 Harp
043 Contrabass	047 Timpani

Bass

056 Trumpet 1	060 French Horn
057 Trombone	061 Brass
058 Tuba	062 Synth Brass 1
059 Muted Trumpet	063 Synth Brass 2

Pipe

072 Piccolo	076 Bottle Blow
073 Flute	077 Shakuhachi
074 Recorder	078 Whistle
075 Pan Flute	079 Ocarina

Synth Pad etc.

088 Fantasia	092 Bowed Glass
089 Warm Pad	093 Metal pad
090 Polysynth	094 Halo Pad
091 Space Voice	095 Sweet Pad

Ethnic

104 Sitar	108 Kalima
105 Banjo	109 Bag Pipe
106 Shamisen	110 Fiddle
107 Koto	111 Shannai

SFX

120 Gt.FretNoise	124 Telephone
121 Breath Noise	125 Helicopter
122 Seashore	126 Applause
123 Bird	127 Gun Shot

ドラムチャート (Drum Chart)

Key No.	標準 セット
27 D#1	High Q
28 E1	Slap
29 F1	Stratch Push
30 F#1	Stratch Pull
31 G1	Sticks
32 G#1	Square Click
33 A1	Metronome Click
34 A#1	Metronome Bell
35 B1	Bass Drum 2(Acoust)
36 C2	Bass Drum 1(Rock)
37 C#2	Side Stick
38 D2	Snare Drum 1
39 D#2	Hard Clap
40 E2	Snare Drum 2
41 F2	Low Floor Tom
42 F#2	Closed Hi Hat(EXC1)
43 G2	High Floor Tom
44 G#2	Peadal HiHat(EXC1)
45 A2	Low Tom
46 A#2	Open HiHat(EXC1)
47 B2	LowMid Tom
48 C3	Hi Mid Tom
49 C#3	Crash Cymbal 1
50 D3	High Tom
51 D#3	Ride Cymbal 1
52 E3	Chines Cymbal
53 F3	Ride Bell
54 F#3	Tambourine
55 G3	Splash Cymbal
56 G#3	Cowbell
57 A3	Crash Cymbal 2

Key No.	標準 セット
58 A#3	Vibraslap
59 B3	Ride Cymbal 2
60 C4	Hi Bongo
61 C#4	Lo Bongo
62 D4	Mute Hi Conga
63 D #4	Open Hi Conga
64 E4	Low Conga
65 F4	High Timbale
66 F#4	Low Timbal
67 G4	High Agogo
68 G#4	Low Agogo
69 A4	Cabasa
70 A#4	Maracas
71 B4	ShortWhistle(EXC2)
72 C5	Long Whistle(EXC2)
73 C#5	Short Guiro(EXC3)
74 D5	Long Guiro(EXC3)
75 D#5	Claves
76 E5	Hi Wood Block
77 F5	Low Wood Block
78 F#5	Mute Cuica(EXC4)
79 G5	Open Cuica(EXC4)
80 G#5	MuteTriangle(EXC5)
81 A5	OpenTriangle(EXC5)
82 A#5	Shaker
83 B5	Jingle Bell
84 C6	Belltree
85 C#6	Castanets
86 D6	Mute Surdo(EXC6)
87 D#6	Open Surdo(EXC6)
88 E6	

MIDI Implementation Chart

Function		Transmitted	Received	Remark
MIDI Channels		1 ~ 16	1 ~ 16	
Mode		X	3	
Note Number		21 ~ 108	0 ~ 127	
Velocity				
Note On		9n, V = 127	9n, V = 127	
Note Off		9n, V = 0	8n, V = 0 ~ 127	
Key Aftertouch		X	X	
Channel Aftertouch		X	O	
Pitch Bend		X	O	+2 Octave Pitch Band Sensitivity recognized
Control Change	0, 32	X	O	Bank Seselect
	1	X	O	Modulation
	6, 38	X	O	Data Entry
	7	X	O	Main Volume
	10	X	O	Pan
	11	X	O	Expression
	64	O	O	Damper Pedal
	67	O	O	Soft Pedal
	91	X	O	Reverb Depth
	93	X	O	Chorus Depth
	98	X	O	NRPN LSB
	99	X	O	NRPN MSB
	100	X	O	RPN LAB
	101	X	O	RPN MSB
	120	X	O	All Sound Off
	121	X	O	Reset All Controllers
	123	X	O	All Note Off
Programme Change		X	O (0 ~ 127)	

Note :

1. Default Pitch Bend = 1 Semitone
2. Mode 1 : OMNI On, Poly
3. Mode 2 : OMNI Off, Poly

製品の仕様及び規格

Item			Description
Silent Mechanism			Universal Mute Rail by Manual Lever
Sensor Keyboard			Reflector Type Touch Less Optic Sensor System
Velocity			127 Level
Touch Response			5 Curves
Sensitivity of each Keys			Individual Adjustment Range from 000 to 255
Sensor Pedal			Sustain, Soft
Sounds			17 Pre-Set, 128 GM Sounds
Sounds Memory			512MB
Polyphony			168 Poly
Transpose			±24 Semitone
Effect	Reverb	Type	8
		Ragne	000 ~ 127
	Chorus	Type	8
		Range	000 ~ 127
Pitch	Standard		440 Hz
	Range		438 ~ 445 Hz (1 Hz)
Metronome	Tempo		25 ~ 250
	Type		21 Type
	Volume		0 ~ 9
Demonstration Song			10 Songs
Record and Playback			2 Tracks (Approx. 40,000 Notes)
Display			3 Digit Numeric LED
Headphone Jack			1/8" x 2 Jacks
USB MIDI INTERFACE			MIDI INTERFACE built in (Connecting to Computer)
MIDI Port			Input / Out / Thru (Extra MIDI Module)
Audio			In/Out (Stereo)
Power Supply			Input : AC 100 ~ 240V, Output : DC 12V, 1~3A
Dimension of Control Unit			121 x 26 x 67 mm (W x H x D)
Remark			

* Above specifications are subject to change without notice.

故障かな?と思われる前に

症 状	思われる原因と解決方法
電源が入らない	• 電源コンセントがしっかり入っているか確認する。 • アダプターの連結部、ユニット本体の電源プラグにしっかり入っているか確認する。
音が出ない	• ヘッドホーンがしっかり差し込まれていますか？ • ボリュームが適当な大きさになっていますか？ • 鍵盤を弾いた時にユニット前面の MIDI 信号受信が点滅するかを確認します。点滅しない場合、本体と鍵盤をつなぐケーブルがしっかり入っているか確認します。 • システムの初期化をします。
一部の鍵盤だけが音がでない	• 消音システムを再初期化します。 初期化方法をよく読み正確に初期設定してください。
雑音が聞こえる	• 本システムは付属のヘッドホーンの許容量以上のボリュームが出ますのでボリュームを下げて御使用ください • ヘッドホーンに異物が入っていないか確認する
ペダル動作がおかしい	• ペダル機能を個別に設定できるモデルではペダル毎の機能設定に熟知し設定してください。
ピアノ音がもれる	• 本システムの消音機構はシャンクストップ方式を採用し、アコースティックピアノ演奏時の影響を最小限におさえる調整方法をとるため、最大のフォルテシモ等での演奏時に若干の音もれのするおそれがあります。 音もれを完全に止める取り付け調整も可能ですがその際は生ピアノ演奏時のタッチが通常よりも浅く感じられることがあります。 • 消音演奏時にマフラーペダル(ピアノの真中のペダル)が OFFになっていることを確認ください。(アップライトピアノ) • どうしても音もれが気になる場合、もしくはメゾフォルテ程度の演奏においても音もれのする場合は取り付け販売店、技術者にご相談ください。

製品保証書

- ・ご購入後、正常な使用方法にておいて発生した故障につきましては下記の期間、無償で修理いたします。
- ・故障の際はご購入の販売店へご連絡ください

保証期間	本体		1年間
	ヘッドホン		6ヶ月 (持込修理)
	ACアダプター		6ヶ月 (持込修理)

無料修理規定

- 保証期間でも次のような場合は有料修理となります。
 - イ、使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - ロ、ご購入後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - ハ、火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
 - 取扱説明書に記載されている使用条件以外で使用した場合の故障または損傷。
 - ホ、本書の提示がない場合。
 - ヘ、本書にお買い上げ年月日、販売店の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - ト、消耗品の交換、仕様変更など。
- 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理を行った場合の出張料はお客様の負担となります。
 - ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。 保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、ご購入の販売店にお問い合わせください。

お客さま名

取扱販売店名

住所

電話

取付ピアノメーカー

機種

製造番号

納入日 年 月 日 技術者名

・取付技術者の方へ

ユニット取付後、取付技術者名と取付日を上記へご記入ください。